

◎市長（角光雄君） ただいまの小川議員の御質問にお答えをいたします。

私は、文化とは生活の質を高めるための人々のさまざまな活動、つまり芸術作品や文化財のような物質的なものから、衣食住や祭り、生活様式など人々の行為、さらには知識や価値観のような精神的なものまで、幅広くおおよそ人間の生活にかかわるものすべてが、幾多の時を経て形成されてきたものでありまして、このように文化は人の心を豊かにするとともに、地域社会のきずなとなるものであり、白山みらい創造プランの基本理念に掲げる「住んでよかった、住み続けたい」と思える都市の力、エネルギーとなるものです。文化の持つこうした力を文化力というのではないのでしょうか。

また、「文化のないところには人は育たない」、「文化のないところには企業も、人も集まらない」、これは、これまで私が幾たびか申し上げてきた言葉でもございます。産業やスポーツも文化の中から生まれ、文化が町をつくるといっても過言ではなく、白山市総合計画において、これから10年間の重要課題として各施策を通して市民の文化意識の醸成とその充実に努めたいと考えておるところでございます。

特に私は、子供さんの教育について感性教育を重視しております。この感性教育そのものも文化から感じた私の意見でありまして、やはり子供さんの小さいときから文化意識を持つということは非常に大切なことであり、これからも感性教育を通じて子供の文化教育というものを進めていきたい、こんなふうにしておるところであります。

御質問の教育委員会所管となっています文化課及び歴史遺産調査室を市長部局の所管とすればどうかということではありますが、本市では、文化課において芸術活動の普及啓蒙、文化団体活動の支援、各文学賞に関することなど、文化振興全般に関する事務を文化振興係が担当し、埋蔵文化財、文化史跡など文化財全般に関する事務を文化財係が担当いたしております。また、本年4月に新たに設置した歴史遺産調査室では、白山の遺跡群調査、白峰地区の伝統的建造物群調査などを行っております。

教育委員会の職務権限として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律において、文化財の保護に関すること、ユネスコ活動に関することは教育委員会が管理、執行する事務として規定されておるところであります。本年4月に法律が改正され、文化財の保護に関することを除く文化に関することを地方公共団体の長が管理、執行することができることとされたところであります。現在の歴史遺産調査室の業務を世界遺産登録のみならず、白山を中心とした観光資源の発掘、地域の活性化を図るものにとらえ、文化振興、観光振興をあわせ持つ組織体制が市長部局でとれないか検討してまいりたい、こんなふうにしております。できたら、今、小川議員が御提案ありましたような方向性を見出していきたい、私はそう思っております。

何よりも、やはり我々の生活の豊かさを感じる時には文化なくしてはないと、先ほど申しましたとおり、文化のないところには人が集まらなると、私はそう思います。特にこ

れからの観光は、単なるいやしも大切でありますけれども、文化のないところには観光も生まれません、私はそう思います。私はたびたび欧米の方へ行きました。フランスも行きまし、イギリス、ドイツへ行きますけれども、再度また来たいと思うのは、やはりそれぞれの欧米の歴史的な文化財、あるいはそういう文化のあるところ、そういうところには何度足を運んでも行きたいというふうに思います。そういう面では、やはり白山のこれからの観光を考えると文化というのはいかに大切かということを感じている一人でありまして、おっしゃるとおり、これから文化については市長部局でも真剣に取り組んでいくという方向を見出していきたく、こんなふうに思っております。

次に、市民憲章の策定及び文化創造都市宣言についてであります。現在、白山市においては、市政の担い手である市民の自覚と責任のもとに、町づくりを行うための基本理念や原則、あるいは市民や行政、議会の役割や責務などを定めた自治基本条例の制定を目指しているところであります。21世紀の地方分権型社会にふさわしい町づくりを進めるため、市民参加と協働がこれからの白山市の新しい活力を生むものと期待しており、そこから議員も御指摘の広い意味での文化を基調にした町づくりの理念、哲学的なものが市民の中に醸成されていくものと信じており、市民憲章についても、できたら私の任期中には策定の方向に行きたいというふうには思っておるところでもございます。

また、文化創造都市宣言につきましても、町づくりの大きな原動力となるものであり、私は今、世界の平和を考えるときに、政治家とか単なる宗教家では、私は世界の平和は実現はなかなか難しいと思います。それぞれの理念とかいろいろのものが違いますので、そうでなしに、文化を通じたいわゆる世界平和の実現、これは実現できるんじゃないかというふうに思います。そういう意味で、あらゆる広い意味での文化創造都市宣言というのは非常に素晴らしいことだと思っております。全国では相当、文化というものを入れた宣言をやっております。石川県にはございませんけれども、私はそういう意味では、白山市が前向きにこれに取り組むことを検討していきたい。今、私は思いましたのは、文化創造、あるいは文化創生都市宣言というふうなものにした方が、かえっていいのかなというふうに思いました。